

オーバーツーリズムと ジェントリフィケーション



講師：松村嘉久氏（阪南大学 国際観光学部 教授）

中井治郎氏（龍谷大学 社会学部 非常勤講師）

日時：2019年12月5日（木）16：50～18：30

会場：関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス E号館 102教室

※入場無料、申込不要

観光推進を国是とする現代日本では、アウトバウンドの数をインバウンドの数が凌駕している。バルセロナやパラオといった世界の観光地と同様、伝統と格式を背負う都市・京都においては、訪日外国人観光客の増加による様々な事態に苦慮する「オーバーツーリズム」（観光公害）の問題が浮上している。同じく大阪でも、2025年の万博に向け統合型リゾートなどへの議論が進む一方で、都心部では新たな外国人住民が増加し、従来日雇い労働者の街として知られていた場所でもジェントリフィケーションが進行しつつある。今回のセミナーでは、これらグローバル社会における都市と観光の問題を、京都でフィールドワークする社会学者、大阪でまちづくりを実践する観光地理学者、それぞれのゲスト講師の事例報告から考えていきたい。